

会 派 代 表 質 問

太宰府新政会

はせがわ こうせい
長谷川 公成 議員

問

今後の「子育て支援の推進」は

- ・子育て支援の推進について
- ・安全な消費生活の推進について
- ・学校教育の充実について
- ・良質な水道水の安定供給について
- ・高齢者福祉の推進について

Q

保育所の入所について毎年この時期になると全国ニュースで話題となる。本市も近年、積極的に認可保育所の定員増を図り、一昨年は、110人の増で、定員合計は、10施設1238人となった。以前の施政方針には、具体的な数が明記されていましたが、今回の施政方針の中には示されていない。そこで、現在の待機児童数と待機児童を解消するために、保育所の定員の数を何人増員するのか伺う。また、保育士の確保（ごじょう保育所）は、できているのか伺う。

A

市長 現在の待機児童数については220人です。今後の定員増につきましては、現在見直し中の太宰府子ども子育て支援事業計画の中で、平成31年度までに定員を319人増員し、1587人を予定しています。保育所の新設につきましては検討していますが、必要があると考えております。また、市立ごじょう保育所の保育士確保につきましては、1月末に市内認可保育所合同による保育士採用の説明会を実施いたしました。200人定員に要する保育士の確保には至っておりません。今後、引き続き市内認可保育所と協力し、保育士の確保に努めてまいります。

宰 光

みやはら しんいち
宮原 伸一 議員

問

公約にあげた行政サービスの成果は？

- ・所信表明について
- ・子育て支援の推進について
- ・障がい福祉の推進について
- ・学校教育の充実について
- ・計画的なまちづくりの推進について
- ・中学校完全給食の実現について
- ・九州国立博物館における夜間開館の実施への支援について

Q

市長は、公約で約束した項目について着実に取り組みを進め、その成果があらわれているとの説明があった。具体的にどのような公約があり、その成果があったのか伺う。

A

市長 面的な情報公開、宿泊施設の誘致、太宰府ブランド開発、観光おもてなし宣言、インフラ整備、交通渋滞解消があります。このうち、小中学校のエアコン設置の完了、子ども医療費の拡大などいたしました。それ以外の公約につきましては順次取り組んでまいります。

A

市長 私の市長選挙時に公約してお約束した充実させる行政サービスですが、先日の施政方針で述べましたもの以外といたしました。小中学校エアコン設置、子育て支援、保育所の整備、高齢者の見守り支援、介護施設の充実、障がい者福祉の充実、防犯・防災の充実、全

公明党太宰府市議団

お ば た ま ゆ み
小 畠 真 由 美 議員

- ・子育て支援の推進について
- ・生涯健康づくりの推進について
- ・観光基盤の整備充実について
- ・市民のための行政運営について

問

発達障がい等の早期発見に向けた体制づくりを

Q

生涯健康づくりの推進について2点伺う。

①新生児聴覚検査の結果を把握できている市町村は68・8%、初回検査の公費負担を実施しているのは6・8%にすぎない。今後、都道府県が市町村の取り組みを支援することになり、本市でも早急に実施に向け、難聴の早期発見への取り組みを行うべきだと考えるが見解は。

②発達障がいの早期発見のためには、就学前から支援を行う必要がある、5歳児での健診を行うべきだと考えるが見解は。

A

市長 ①昨年4月以降に新生児訪問の際に、母子健康手帳を確認したところ、およそ95%の赤ちゃんが検査を受診されています。初回検査の公費負担は、今後他市町村の動向を見極めながら検討していきたいと考えています。

②就学前から支援を行うことの重要性は認識していますが、実施する場合、市内には小児科医3医療機関のみのため、どのような健診を実施していくのか、発達障がいの発見後、どのようにつないでいくのかなどの課題があります。今後はまずは5歳児健康診査の必要性、実施方法などの調査研究を行っていききたいと考えています。

日本共産党太宰府市議団

ふ じ い ま さ ゆ き
藤 井 雅 之 議員

- ・子育て支援の推進について
- ・生涯健康づくりの推進について
- ・計画的なまちづくりの推進について
- ・観光基盤の整備充実について
- ・市民のための行政運営について
- ・外郭団体について

問

コンパクトシティーを目指して

Q

計画的なまちづくりの推進について2点伺う。

①秩序ある土地利用の推進として今回策定予定の「立地適正化計画」では、具体的に特定の地域を想定のうえ検討しているのか。

②空き家対策において、消防組織との連携は検討しているのか。

A

市長 ①市域全体を計画の対象としています。医療福祉、

公共施設、公共交通、防災施策などの各種都市機能に着目し、これらを都市計画の中に位置付けます。その魅力を生かした土地利用により、稼ぐ力の引き出しや健康寿命延伸など、都市の課題解決に取り組みたいと考えています。

②本年度実施した空き家実態調査において、700軒以上の空き家があることが判明しました。まずは、空き家の適正管理を行うことが最優先事項であり、消防組織との連携についても今後検討していかねばならないと考えています。

真政会

かさり 笠利 議員
つよし 毅

- ・ 地域交通体系の整備について
- ・ 所信表明について
- ・ 子育て支援の推進について
- ・ 障がい福祉の推進について
- ・ 社会保障の適正な運営について
- ・ 学校教育の充実について
- ・ 高齢者福祉の推進について
- ・ 総合福祉について
- ・ 外郭団体について
- ・ 市役所改革元年について
- ・ 市民のための行政運営について

問

生活道路の整備を問う

Q

徒歩の生活圏の道路の整備につき、市長による市民と語る会でも多くの住民の声があがったと聞く。そのうち側溝のふたの整備について、今回の施政方針で2度にわたり言及され、最優先で計画的に取り組むとされている。その計画の自身について伺う。

また、その計画の予算面での配慮、目標到達の短縮度合はどうなっているか。計画を策定した段階でどのように住民に伝えていくのか伺う。

A

市長 側溝整備の計画内容につきましては、平成28年度2月に調査しました市内団地における道

路側溝ふたの未設場所に関して、29年度上半期に年次施行計画を作成し、公

共施設等総合管理計画との整合を図りながら平成29年度から順次整備を行いますと

考えています。
担当部長 平成29年度予算において側溝整備に2000万円から2500

万円をあてる予定にしております。これに関して、目標達成までの年限がどの程度縮まるかは、計画ができた段階でお知らせしたい。また、計画の周知については、自治会を通して住民へお知らせしていきたいと考えています。

太宰府市民ネット

むらやま ひろゆき 議員
村山 弘行

- ・ 所信表明について
- ・ 計画的なまちづくりの推進について
- ・ 中学校給食の導入について
- ・ 高齢者の交通事故防止とりわけ免許証の自主返納についての特典について

問

太宰府市まちづくり協議会が目指すものは

Q

第五次太宰府市総合計画の基本構想で示されている協働のまちづくりについては、市民との協働のまちづくり、コミュニティを進める為に、(仮称)太宰府市まちづくり協議会

A

市長 本市におきましては、日頃から様々な場面でまちづくりに貢献されている立場の異なるような方々が、まちづくりについて一堂に会して、直接相互に意見を交わす機会が少なく、このような場をまず設けて今後それぞれの方が意思疎通を図りながら、協働して課題に取り組んでいただき、場合によっては一つの取り組みを協議会全体で行うなど、その効果が一層高まるようにと考えています。質問の佐野東ま

会 改革の市政府太宰

議員 正嗣 森田

- ・子育て支援の推進について
- ・高齢者福祉の推進について
- ・地域福祉の推進について
- ・人権を尊重するまちづくりの推進について
- ・計画的なまちづくりの推進について
- ・生活支援体制整備事業の進捗について

問

在宅高齢者の生活を充実させるために

Q

高齢者が在宅で充実した生活を維持してゆくために、地域包括ケアシステムの構築が喫緊の課題であるとともに、在宅生活の支援も重要な施策となってくる。従来の在宅生活支援は緊急通報装置の給付、配食サービス、紙おむつ給付など、家にいたまま受ける生活支援に偏りがちであったと考える。高齢者が、地域で生きがいを持って活動できるように生活支援をする施策は考えられるのか見解を伺う。

A

市長 在宅生活の支援は、介護保険サービスの他にも様々なサービスを実施しています。認知症の方への支援も充実させています。厚生労働省の介護予防・日常生活支援総合事業ガイドラインにおいては、住民主体のサービスの創出が想定されています。生活支援コーディネーターを導入することで、地域資源の開発・ネットワークの構築を進め、支援ニーズとのマッチングを図るなど、支援体制の整備が進むよう社会福祉協議会とも協議を重ねています。地域でのサロン活動支援や介護予防運動教室等を通じて、高齢者の生活の充実感を満たすことも必要と考えています。

問 質 人 個

Q

今後の保育所運営について4点伺う。

①保育児童課について、児童福祉係に加えて保育所係を増設した目的と効果について

②保育所に対する監査や指導方法について

③保育士の給与問題は、社会問題であり解決すべき課題と考えます。そこで本市の具体的な見解について

④ごじょう保育所の運営計画と今年度予想される本市の待機児童数について



問

保育所待機児童の早急な解決に向けて

議員 洋介 徳永

A

部長 ①4月からの組織機構改革に伴う保育所の運営については、保育児童課に児童福祉係と保育所係の2係体制となり、来年度から県と合同で実施する指導監査に対応するため係を新設することで保育の量と質の向上の取り組みが進められると考えます。

②県で作成した合同監査用の資料を使用して児童の処遇、保育所運営管理、保育所経理の3つの監査項目の内、児童の処遇を市が担当する予定です。

③平成29年度政府予算案に於いて保育園等に勤務する全ての職員を対象に月額6000円の給与アップに加え経験年数が概ね7年以上の中堅職員に対しては、月額4万円、概ね3年以上の職員に対しても月額5千円の給与アップが予定されています。

④今後も保育士の確保に努め、定員までの入所を目指します。なお、市全体で入所内定ができていない児童は、220人となっております。

全質問項目

◇今後の保育所運営について